

13. 芸東海域における
キンメダイ未成年魚の
標識放流について

芸東海域におけるキンメダイの標識放流（続報）

海洋資源科

1 はじめに

1985年9月11日、室戸市三津地先において、キンメダイ未成魚1,900尾の標識放流をおこない、前報（中島他1988）で、1988年3月末現在での再捕結果を報告したが、その後、新たな再捕報告が得られたので追加報告する。

2 結 果

(1) 再捕

表1に、1990年3月末現在の再捕状況を示す。新たに再捕されたのは、'88年に1尾、'89年に2尾、'90年に2尾の計5尾である。漁具別では、立縄釣3尾、底延縄1尾、まき網1尾である。

(2) 移動

前回報告時には、放流魚のキンメ主漁場への移動（添加）はなかったが、今回の再捕魚5尾中3尾は、主漁場であるサウス山、大正礁で再捕されたものである。このことは、キンメダイが生息場所を、成長にともない水深の大きい海域に移すことを示唆しているものと考えられる。

また、1990年2月23日、神奈川県水産試験場の調査船「相模丸」によって、 $23^{\circ}57'N$, $125^{\circ}45'E$ （宮古島南東50マイル付近）海域で1尾が再捕された。放流後の経過日数は1,626日、その移動距離はおよそ720マイルに達する。

(3) 成長

'89年再捕魚は、尾叉長が35.9cm, 40.9cmで、それぞれの体重は923g, 1,400gであった。

'90年に宮古島南東沖で再捕されたものは、尾叉長33cm, 体重1,000gで、'89年再捕魚に比べ成長が遅いように見受けられる。この成長差が、放流時の魚体差によるものか、移動差によるものかは不明である。

参考文献

- 中島敏男, 米田実, 渡辺貢, 児玉修 1988 : 芸東海域におけるキンメダイ未成魚の標識放流
高知県水産試験場事業報告

表 1 1985年放流群再捕状況

再捕番号	年 月 日	経過日数	場 所	再捕漁具	体長 (F.L.)・体重
1	1985. 12. 6	86	33 - 25 N 134 - 18 E	立 縄	22. 2 cm 247 g
2	12. 29	109	"	"	- -
3	1986. 1. 27	138	33 - 26 N 134 - 19 E	"	20. 2 165
4	3. 16	186	33 - 22 N 134 - 14 E	"	- -
5	6. 3	265	33 - 25 N 134 - 18 E	"	22. 0 250
6	6. 25	287	"	"	22. 4 246
7	6. 26	288	"	"	23. 5 282
8	7. 10	302	"	"	24. 8 325
9	9. 27	381	"	"	22. 1 249
10	9. 27	381	"	"	22. 6 250
11	12. 1	446	33 - 22 N 134 - 14 E	"	- -
12	1987. 2. 3	510		底曳?	21. 4 223
13	5. 14	610	33 - 25 N 134 - 18 E	立 縄	25. 0 300
14	7. 20	677	"	"	- -
15	7. 25	682	"	"	(28. 0) 400
16	7. 28	685	"	"	(28. 8) 400
17	7. 29	686	"	"	(23. 0) 300
18	7. 31	688	"	"	(31. 5) 600
19	8. 2	690	"	"	(24. 3) 300
20	10. 2	751	"	"	(27. 5) 300
21	10. 2	751	"	"	(26. 8) 300
22	12. 13	823	"	"	(28. 4) 400
23	12. 21	831	"	"	(26. 0) 400
24	1988. 12. 8	1184	日ノ岬SSW沖 20マイル	まき網	32. 5 852
25	1989. 8. 17	1436	32 - 56 N 134 - 11 E	立 縄	40. 9 1,400
26	8. 23	1442	33 - 02 N 134 - 31 E	"	35. 9 923
27	1990. 1. 14	1586	33 - 00 N 134 - 14 E	"	- -
28	2. 23	1626	23 - 57 N 125 - 45 E	底延縄	33. 0 1,000

() は全長を尾叉長に換算

芸東海域におけるキンメダイ未成魚の
標識放流（続報）

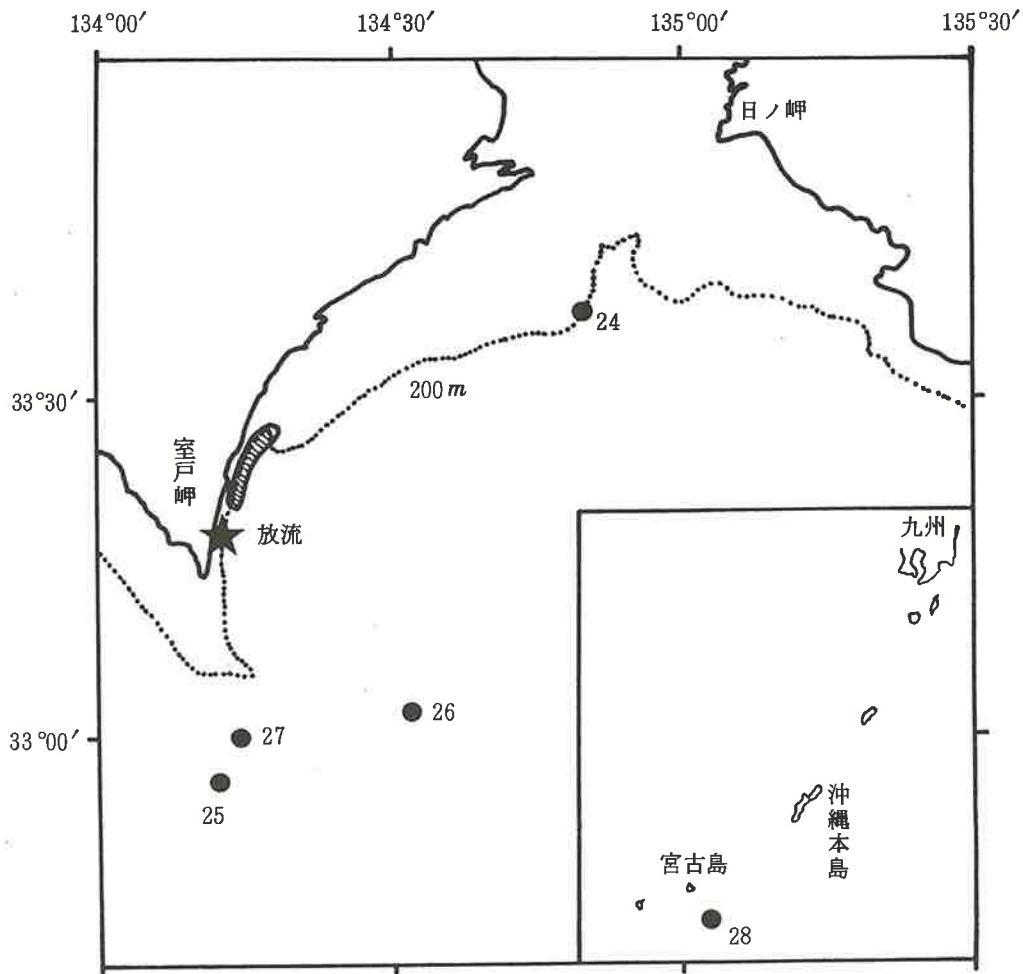


図 1. 放流キンメダイの移動状況

- ▨ 1988. 3 月末現在の再捕海域
- 1988. 4 月以降の再捕地点
(添字は再捕番号)